

第 71 回朝日 レガッタ 『レースに当たっての審判上の注意』 審判長

今大会は、日本ボート協会競漕規則(平成 27 年 10 月改訂)、FISA Rule Book(2017 年版対和訳) 附則 18 パラロウイング競漕規則及び大会要項に準じてレースを運営するが、特に下記の事項に注意してレースに臨むこと。

1. 健康について

選手は競漕に耐えうる健康者であること。 又、自己の責任において体調を完全に整えてレースに臨み、気分がすぐれないときは、レース前・レース後を問わず、最寄りの審判員及び役員に申し出ること。

2. レース中断について

レースは安全を何よりも優先して運営する。レース中、天候の急変によるコース状況の悪化によりクルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中断することがある。

3. 航行ルールについて

本大会の航行ルールを別紙に示す。出漕クルーは航行ルールを守り、周囲に十分注意し、事故を起こさないようにすること。航行ルールを違反した場合は警告の対象となる。

4. 水上での安全確保について

水上における自らの安全を確保する技量を有していること。(例えば、立ち泳ぎができる等) 左記の要件を満たさない、若しくは大会監視が十分に行き届かない水域へ練習に行く場合等、救命具を携行・装着するなどの安全対策を各クルーの責任において実施すること。

5. パウナンバーについて

出艇前にあらかじめ定められたレーンを確認し、正しい番号のパウ・ナンバー※を装着すること。パウ・ナンバーの不装着は除外になることがある。尚、ガンネルへの装着は認められません。

※・材質…プラスチック、または木製 ・寸法…縦25cm 横15cm 厚さ2mm ・地色…白色 ・文字色…黒色

・文字サイズ…縦 20.5cm 横 11.5cm 太さ 3cm

6. 発艇定刻に遅れる場合

出漕クルーは発艇定刻 2 分前までに所定の発艇位置(ステッキポート)に着かなければならない。艇の故障等で発艇定刻に遅れる場合は、速やかに最寄りの審判員に申し出ること。事情を考慮の上、最大 15 分程度発艇定刻を繰り下げる場合がある。許可無く発艇位置に着くことを遅延した場合、そのクルーを待つこと無く発艇し、そのクルーは失格となる。

7. スタート時のコースへの進入について

前レースがスタート後、クルーがコースへ進入できる状況になると発艇員がクルー名を読み上げレーンを指定する。発艇員に指名されるまでコースに進入してはならない。

8. 発艇号令について

発艇号令が聞こえない場合がある。クルーは旗の動きを見てスタートすること。 なお、発艇猶予を求める挙手は認められない。各クルーは発艇定刻 2 分前までに準備を完了し、ロールコールの後はいつでも発艇できるようにしなければならない。

9. レース中の注意

すべてのクルーは自己のレーンを進行し、他のレーンの侵害や、他艇の妨害をしてはならない。特に危険な場合は、主審が白旗を掲げ、『○○、止まれ!』と当該クルーだけに警告することがある。この警告を受けたクルーは直ちに漕ぐのをやめ、安全を確認後、漕ぎ始めること。

10. シングルスカル選手の落水について

シングルスカル選手が落水した場合、自力で乗艇し決勝線を通過した場合は着順を認める。但し、主審が危険である、

もしくはレース運営に支障があると判断した場合は救助する(扱いは途中棄権)。なお、落水時にストレッチャーから足が抜けなくなることがあるので、ヒールロープは必ず結び、すばやく靴を脱ぐことのできる長さに調整すること。

他種目の選手の落水については即座に途中棄権となる。

11. レース終了後

フィニッシュ後は、全クルーがフィニッシュし、白旗が上がるまでその場で待機すること。レースに異議がある場合、レース成立を示す白旗が上がる前までに審判員に申告しなければならない。レースに何らかの問題があった場合は、主審より赤旗が上がるが、この場合審判員の指示に従うこと。また、フィニッシュ後に艇の上で仰向けに身体を休めることは、危険であるので厳禁とする。

12. 舵手計量について

今大会では、舵手計量は競漕規則と同じ形式で行う。よく確認しておくこと。但し、競漕規則第 25 条では、「2 時間前から 1 時間前」となっているが、計量所への往復に時間を要するクルーを考慮し、この点のみ「2 時間半前から 1 時間前」に変更する。デッドウエイトが必要な場合、主催者側が用意する。デッドウエイト携行を命ぜられたクルーは、当該レースに必ず携行すること

- ・計量所は滋賀県ボート協会艇庫(BRC)横で行うので、あらかじめ場所を把握しておくこと。
- ・計量所での飲食は厳禁とする
- ・計量時間には絶対に遅れない事(遅れると「除外」)

13. 服装について

各クルーとも統一したユニフォームを着用し、不揃いな服装で出漕してはいけない。ロゴおよびアンダーシャツや見た目の色調も含め、厳格に統一すること。また、帽子・はちまき等を着用する場合には、着用する者の間で統一したものを着用すること。

14. コース閉鎖について

競漕開始 30 分前にコースを閉鎖する。コース閉鎖中は、レースに出漕するために回漕するクルー以外はコースに入れない。競漕前及び終了後に、コース閉鎖及び解除の放送をする。

15. 警告について

警告(トラフィックルール違反・発艇定刻 2 分前遅れ・フォルススタート等)の累積はフィニッシュと共にリセットし、フィニッシュ後から次のレースのフィニッシュまで有効とする。尚、有効な警告 2 回で除外となる。

16. 伴走について

いかなる場合も、コースに沿いクルーに伴走することを厳禁する。特に危険な自転車やミニバイクによる伴走を発見した場合は、関係クルーを失格にする。